



多久市の子育てを応援する「児童センター」

あじさいへ行こう！

Go!



子育て支援センター“でんでんむし”利用者3万人達成!!

児童センター“あじさい”内にある子育て支援センター“でんでんむし”は、7月10日(金)に利用者3万人を達成しました。“でんでんむし”は、これからも子どもたちの笑い声やパパ・ママの楽しい語らいが聞こえてくる支援センターを目指していきます。どうぞお気軽にお越しください。



ぜひ
“でんでんむし”に
来て
ください
ね!



▲3万人目の利用者となられた北多久町在住の親子

あじさいのイベント情報♪

8月

にこにこサロン (毎週火曜)

4日	読み聞かせ
18日	お誕生会
25日	みんなで遊ぼう

すこやかタイム (毎週土曜)

1日	貯金箱作り
8日	みんなでダンス
22日	消しゴムはんこ作り
29日	木工教室

でんでんむし

6日(木)	ママカフェ
18日(火)	お誕生会
20日(木)	子育て講話・食育相談会

児童センターでは、新型コロナウイルス予防対策を徹底し、イベントも通常どおり開催しています。安心してご利用ください。

あじさい
ホームページ
QRコード



問い合わせ

児童館 ☎75-6621 / 子育て支援センター「でんでんむし」 ☎37-1117

利用者支援事業「パラソル」 ☎75-5120 / ファミリー・サポート・センター「にじいろ」 ☎75-5111

出典：独立行政法人国民生活センター



©Kurosaki Gen

事例
エンジン式の刈払機で田んぼのあぜ道の草を刈っていたところ、金属製の刃がコンクリートに当たり、欠けて飛んできたコンクリート片が右目に入った。保護メガネは着用していなかった。目に傷がつき出血し、視力も低下してしまった。
(60歳代/男性)

ひとことアドバイス

- 刈払機(草刈機)の使用中に、高速で回転する刈刃が石などの異物に接触すると、異物や刃の破片が飛び散ったりして、作業員自身や周囲の人に当たり、重篤なけがにつながる危険性があります。
- 異物が多い場所だけでなく、壁などの障害物がある場所では、金属製の刈刃よりもナイロンカッターを使用するとよいでしょう。
- 使用前には機械の点検を行い、刈刃の防護カバーを必ず設置しましょう。作業するときにはヘルメットや保護メガネ、手袋などの保護具を着用してください。
- 地面に小石や枝、空き缶などがいないか確認し、除去してから作業を始めましょう。
- 困ったときは、市民生活課 生活環境係 (☎75-6117) または消費者ホットライン (☎188) にご相談ください。

Check!

みんなで目指そう！ 自ら考え行動する消費者！
気をつけて 刈払機(草刈機)の使用中大けがをすることも

“賢い消費者”を目指し
今年度は



“契約”を学ぼう

クイズ！賢い消費者はどっち？

Q 絵画展で店員に取り囲まれ、退出できずに困り、絵画を「買う」と言ってしまった。取消ができる？できない？

A できる。勧誘に問題があれば、取消ができる場合があります。早めに消費生活相談窓口にご相談しましょう。